

# 10期 アクティブシニアをめざす科

## ～そして生きがい再発見～

日時：10月27日（木）10時～12時

場所：豊中市地域共生センター

テーマ：「身近な草木に生き方を学ぶ」

講師：菅井啓之先生（元京都光華女子大学教授）

▽最初に、松尾芭蕉の「よく見れば なずな花咲く 垣根かな」の俳句を引きながら、「身近な雑草や街路樹も、よく観察すれば、いのちに美しさや秩序、法則があることをきづくことができます」と話され、自ら採取し、持参された植物を手に、その特徴や面白さを紹介していただいた。例えば・・・

ムクロジ（無患子）の実の皮は石けん成分がある。ペットボトルの水に入れて振ると、白い泡があふれたので、びっくり。

マツボックリは水分を含むとすぼむ性質がある。

それを利用して、水分でいったん小さくして、瓶の中に閉じ込めたマツボックリを示され、またびっくり。

プラタナスの葉と茎とをつなぐ葉柄は新芽を守る役目がある。枯れ葉の葉柄を茎から引き抜くと、中から新芽が現れて、「へえ～」

その他、先生が手に取って説明された植物は、ひしの実、アベリア、イチョウの銀杏、ヨモギの花、セイタカアワダチソウ、クズの葉、ススキなど。

先生は最後に、「雑草や苔であっても、そこで生き抜く知恵をもっており、よく見て仕組みを知り、喜びを感じ、心の豊かさを得てほしい」と話された。

——>みんな、童心に戻ったような気持ちで興味津々。植物の生きる世界の豊かさや奥深さに気づかされました。



<午後の活動>13:00～15:30

- ・ラジオ体操
- ・午前の授業の振り返り
- ・キッズベンチャーの紹介

ONCC地域活動推進部の方々から、ONCCが2019年から取り組んでいる「子ども企業体験スクール事業」の成果を披露。地域の子どもたちが、「生きる力」を身につけるために、自分たちで開発し、作成した椅子やクリスマスツリーなどの小物商品とともに、これらの商品を販売するキッズモールを12月10日に岡町商店街で開催することが紹介された。



- ・その後各班でふれあい祭の準備をした。